

学校長承認 印鑑省略

学校関係者評価委員会 議事録

【出席者】 セイコーエプソン(株)人事部 原課長
 (卒業生)宮本幸久氏
 (保護者)清水章弘氏
 (保護者)武田 学氏
 エプソン情報科学専門学校 上島学校長、林教頭、木浦(記)

欠席 長野県経営者協会 平林靖久氏 セイコーエプソン(株)人事部 中島部長

【日時】 2018年2月24日(土) 13:00~15:00 【場所】 第二応接室
 【内容】

- 2017年度実施のイベントについて、スライドショーにて報告。
- 2017年度実績報告(最終自己評価)について報告。
 各委員の質問、意見は以下のとおり。
 - 1-1)退学者があいかわらず一定以上いるが、どのような対応しているのか?
 学生に接する仕組みは、次のような体制である。ベースは学科長とクラス担任(HR長)が複数で対応にあたる体制に加え、就活授業や奨学金面接等の様々な場面で、多くの先生が学生と接点を持ち、情報を共有している。さらに保護者懇談会の実施や、「相談窓口」の仕組みもある。このようなインフラで学生に対応しており、もし退学希望があれば、学校長含めてその対策にあたる。
 - 1-2)それほど体制で事にあたり、本人が別の道を歩みたいと言うなら、どうしようもない。
 - 1-3)過剰な引き留めは、違う人生を歩みたいという学生の邪魔をすることになるので、今の体制で十分だと思う。
- 2)教職員による中間自己評価で、特徴的なことがあるか?
 評価が低い項目は、①財務基盤について②退学率の低減への取り組み③資格取得向上への取り組み④教員の能力開発である。これまで目標にあげていない③や④の改善を、新たな目標として、取り組むことにする。
3. 学校関係者評価は、昨年度より改善(+0.2)。一方で教職員による中間自己評価は昨年度より若干悪化(△0.1)。学校関係者評価の改善は、取り組みの内容が徐々に浸透してきている結果である。教職員による中間自己評価の若干の悪化は、より厳しく内省した結果である。改善を明確にするために、2018年度も引き続きBMを続けていく。

評価項目	中間自己評価	学校関係者評価				
		保護者	卒業生	企業	団体	平均
①学校の教育理念・目標	3.7	4.0	4.0	4.0	3.7	3.9
②学校運営	3.6	3.6	4.0	4.0	3.7	3.8
③教育活動	3.4	3.6	3.9	4.0	3.6	3.8
④学修成果	3.1	3.8	4.0	3.7	3.7	3.8
⑤学生支援	3.5	3.8	4.0	4.0	3.3	3.8
⑥教育環境	3.6	3.7	4.0	4.0	3.3	3.7
⑦学生の受け入れ募集	3.6	3.5	4.0	4.0	3.3	3.7
⑧財務	3.3	3.5	3.3	3.7	3.0	3.4
⑨法令等の遵守	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	3.9
全体	3.5	3.7	3.9	3.9	3.5	3.8

以上